

NEA 主催オンライン指導ミニ説明会 実施報告

● 目的

コロナ禍において子どもへの学習環境充実が急務である中、オンライン指導について、工夫と課題を共有して、よりよい指導ができるような体制を作っていけるようにする。

● 参加者

35社60名

● 日時、会場

2020年4月23日(木) 11:00~12:07 zoom 会議にて

● 当日内容

1. 【事例紹介および現状報告】 : (株)ウィザス様の好事例共有
(コマ構成) 80分 / コマ



- ・狙い：学習をしていることを保護者に伝える形をつくる。
- ・80分映像視聴は学習効果が落ちるため、前後で学習啓発・管理 《好評》
- ・クラスルーム内容例
始まり：(出欠確認や声掛けの時間) 宿題チェック、前回内容や重要单元ミニ講義
終わり：内容確認等
- ・(課題と対策) 担当者技量の向上により、付加価値を高めていきたい

【より良い緊急対応と課題】

- ① 集団指導ポイント：参加意識と競争意識
 - ・オンライン指導で飽きさせない基本動作の一例を紹介
 - ☐ 集中力持続
 - ☐ 授業スピード
 - ☐ 指導テンション
 - ☐ 緊張感
 - ・コミュニケーションの徹底

② 個別指導ポイント：子どもの理解度(出来具合)をいかに把握するか

- ・顧客の二重構造問題に関する注意事項共有

- ☐ 講師の指導法
☐ 不適切発言
☐ 呼称
☐ 服装、背景等

- ・指導効果(理解度把握)のムリ・ムダ・ムラ

以下の大きな課題を克服できるか。

- ☐解いている過程の確認ができない。
☐五感で生徒の様子を確認できない。

- ・ブレイクアウトルームの活用

講師授業ブースごとにルーム作成、責任者が管理することができる仕組み紹介

2. オンライン指導の可能性

教室での対面授業をオンライン指導で具現化できるか？

學習管理

- ・有料映像授業の活用

- ☐
- 「授業の質がしっかりした」商品軸で顧客のニーズに対応

- ・顧客が求めているのは学習管理《学習環境を整える》

- ☐学校の学習も含めた一日の管理をシステム/アナログで管理

- 年2回の“学びの健康診断”である「明日の学力」診断の活用

学習習慣や方法、意欲が不安定になり自己肯定感も低下するのを防止

「あすがく」は、「明日の学力」を伸ばす“学びの健康診断”

お子さまの学力を多面的に診断し、今後さらに学力を伸ばすための個別アドバイスをお返しします。学習環境が不安定になりがちなこの時期、お子さまの「学ぶ力」「学びの習慣」の再確認に、ぜひ「あすがく」をお役立てください。

**強み、弱みを分析し、
一人ひとりに合った
アドバイス**

**モチベーションアップ、
今後の学習法について
アドバイス**

なぜ強みが
伸びないんだろう？

もっとものことを
比べていくと
いいの！

「学ぶ・学んだ力」調査で、
学力向上に必要な力を
チェック！

- ★学力向上に必要な知識
- ★思考力
- ★判断力
- ★表現力

「学ぼうとする力」調査で、
学習環境をチェック！

- ★日々の学習法
- ★学習習慣
- ★学習意欲
- ★自己評価

あすがく

見本

学力をのばすための あすびくさんへのアドバイス

思考力アップに向けて 考え方の習慣を身につけよう！

思考力のアップに向けて、身につけたいと考えた「学習したことの整理を素早く行うノート」のとり方を覚えていきましょう。

授業中、授業後に身につけていこうとするのは、授業で学んだことを思い出し、自分から疑問がある点と気づいた点を整理しておくことは大変難しいというお子様もいらっしゃいます。自分自身で整理する力を身につけることが、ノートへの活用につながります。いろいろなことと関連づけたりして身につけていってほしいです。

思考力アップの
見本となる力

判断力


思考力

学んだ・学んだことをしっかりと整理できるようにしていきます。4つの力の中でも、整理ができていない場合は、整理の習慣を身に付けてもらう「情報力」を身につけていきます。自分から疑問がある点と気づいた点を整理しておくことは、授業中・授業後に身につけていこうとするのは、授業で学んだことを思い出し、自分から疑問がある点と気づいた点を整理しておくことは大変難しいというお子様もいらっしゃいます。自分自身で整理する力を身につけることが、ノートへの活用につながります。いろいろなことと関連づけたりして身につけていってほしいです。

見本の活用：個別相談のアドバイスをお返しにしましょう。

- ・学習効果を高めるための授業報告書の作成を子どもが実施
- 「思考力・判断力・表現力」をこういう情勢だからこそ鍛える。
- (参考資料) http://www.namiki-cs.ibk.ed.jp/?page_id=552
- アクティブラーニング事例「R80」(茨城県立並木中等高等学校)

アクティブラーニング事例「R80」（茨城県立並木中等高等学校）



「振栗とワークでの「振り返り」の要を高める」

R80 (アールエイティー)

年級
番
氏名

課題・タイトル

20

40

60

80

下書き

20

40

60

80

100

「R80」①

「R80」②

R80に関する解説

基本事項	R80の読み方は「アールエイティー」です。 R1E, リアクション (reaction) と、リストラクチャー (restructure) のことです。 R0は、R0年までで覚えてもらうR0です。
基本的な使用法	①「アクティブ・ラーニング (AL)」の教壇は、リアクション (振り返り) として、ペーパーグループで話し合ったことを、自分でイラストラチャー (再構築) して、R0年以内に書きます。 ※必ず、文文 (文センテンス) で書き、文文を接続詞で結びます。 ②「下書き段階や修正 案の扱い方」については、先生の指示をきかずにいい。 ●修正 (した) がいい。 (おかし - だかし) ●追加 (し) がいい。 (だが - ところが) ●並列 (また、ならびに、かつ) ●対比 (一方) ●誘言 (つまり、すなわち) ●理由説明 (なぜなら) 他

※この「R80」の前回は、茨城県立水戸大学教育学部附属のホームページ上にある「A13室」の中に、エッセイアップルとPFDが入っています。ご自由にお使いください。

1/5 特例1 授業とワークでの「振り返り」の要を高める

[illegible]

- ・オンライン自習室・質問室 好事例紹介：個別指導 Q さま好事例紹介
 - 3日間実施 9：00～12：00 毎日40～50名参加
 - 発言の場をつくり、アウトプットの演出をしている
 - 「見ているぞ感」を出すために全員に声掛け、
途中にも様子をみてメッセージ「頑張ってる？」「理科？」
チャットで全体に「今何やっているか教えて」と訊くと一気に書き込み
年長さんもチャットができる
 - 途中でクイズ大会 … 選択肢があると一気に回答がくる。
勉強ややる気につながるクイズを出して、活用している。
(例) バスに大きな荷物をもったお年寄りが乗ってきたが誰も席を譲らない。
なぜでしょうか？
(例) 空気中にある酸素の量は？ 68% 78% 88% どれ？

- 質問は、エルダーが教えてくれたり、学年を飛び越えて説明を聞いたり、アクティブラーニング的な学習もできている。



オンライン自習室ホスト画面



オンライン自習室クイズ出題

- ・ オンライン指導は、通常授業とは別観点で顧客へアプローチ
基礎学力養成 TERACE の紹介（株）SRJ 様
 - 塾会員に家庭で使っていただけるような基礎学力向上
 - 家庭用コンテンツは先生の目が行き届かない前提の商品
 - 楽しみながら学んでもらう仕組み



3. オンライン指導の課題（リスク）

どこまで続けられるのか（飽きないのか）

- ・ 対面授業の熱意・空気感をオンライン指導で伝えられるのか？
- ・ 有料の映像授業は、映像視聴前提のプロ講師が仕掛けをつくって授業を行っている。
- ・ 4月までと5月まで、それ以降で、オンライン双方向指導の価値観に変動？
- ・ 個別指導の実際をみて、ビフォーコロナの授業の価値に疑問？
- ・ 講師が在学指導する是非

(対策例)

- ・アフターコロナを想定して、アフターコロナの商品は別商品として打ち出す。
 - ・塾に集まる価値、先生の価値を考える
 - ・アンダーコロナでは、電話等のめんどろみにて、顧客満足を図り、アフターコロナでの集客を睨む。
 - ・メルマガ、Web サイト、SNS の情報提供にて、オンライン自習室・質問室へ誘導
アフターコロナでの集客を睨む
 - ・オンライン面談、オンライン学習相談室の開催
- ☐ 「明日の学力」診断で、綿密なコミュニケーションを複数月に渡って実施
 - ☐ NEA 主催大学説明会（映像・会報特別号）

（参加大学）2020 年度は、16 大学

関東、関西の大学だが、将来の日本教育の展望としてご提供ください。

◆早稲田大学

◆国際基督教大学 ICU

◆東京理科大学

◆明治大学

◆青山学院大学

◆立教大学

◆中央大学

◆法政大学

◆学習院大学

◇関西大学

◇関西学院大学

◇立命館大学

◇京都産業大学

◇甲南大学

◇龍谷大学

◇立命館アジア太平洋大学（APU）

（保護者向け会報特別号）



（講師向け入学者選抜のポイント）



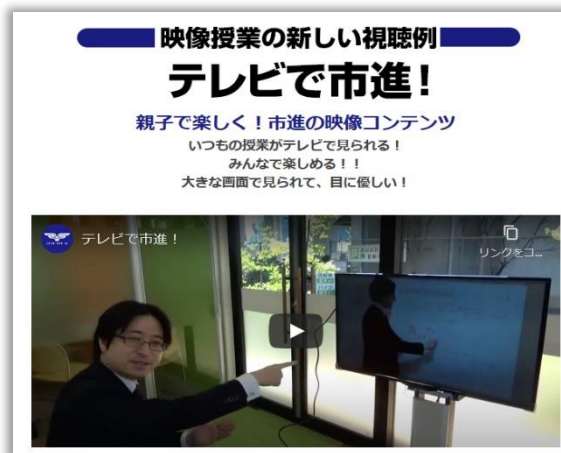
4. その他

- ・ Web サイトにて、明確に方針・対策を示す。

(プロジェクトで説明)



(大きなテレビ画面で学習)



(オンライン授業の受け方)



(実際の授業例)



- ・ オンライン指導のアンケート
「どちらかというと教室の方がいい」という結果が相当数あった。
→アフターコロナで戻ってくるよう対応が必要となる。
- ・ 補助金について
地方自治体は、毎日 Web サイトを見て確認する必要がある。

- ・ School Tact のご案内 （株）スタディラボ様

- ☐ 家庭学習課題の定期的な配信と添削
- ☐ 先生と生徒、双方向の映像授業

詳しくは、<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000004.000055197.html>



- ・ 風評被害もご注意。法的に OK でも、地域の動向・感情論をよく確認。
- ・ 講師の在宅勤務もルールの徹底は必須、状況が変われば不安からトラブルにも。

以上

● NEA 主催 コロナ禍対策

- ・ 4 月 7・8 日 オンライン指導導入説明会 開催
- ・ 4 月 17 日 ズーム活用マニュアル 共有
- ・ 4 月 23 日 オンライン指導未ミニ説明会 開催
- ・ 4 月 27 日 ズーム活用セキュリティ対応編 共有
- ・ 5 月 1 日 オンライン指導意見交換会 開催